

- ◇ 東京の都心近郊では、年明け早々の1月6日に、2年ぶりに雪が積もりました。雪国にお住まいの皆様からは一笑されるかもしれませんが、当地では備えがないので結構な一大事です。予期せぬ雪に、保育園児の子ども達は大喜びでした。私は通勤への影響を厄介に思いつつ、また昔と比べて降雪が減ったことに忍び寄る温暖化の影響を感じながらも、凜然と一変した雪景色に冬の趣を感じておりました。
- ◇ 本号のリレーエッセイでは「予期せぬこと」が寄稿されています。日常の家庭や仕事をはじめ、昨今ではコロナ禍など社会レベルにおいても大小様々な想定外の出来事が起こります。既に起こったことは変えられませんので、それを踏まえた上で、現在と未来をどうしていくか、柔軟に対応する「臨機応変力」が今後益々必要になると感じます。
- ◇ さて、お知らせしているとおり、「ぶんせき」誌は来月号より電子版へ移行します。不易流行という言葉がありますが、時代に即した変化を重ねていくことこそが、本質的に不変な伝統なのではないでしょうか。媒体が変わっても、会員各位にとって変わらず有用な機関誌となるよう精進してまいります。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。  
[K. M.]

- 〈とびら〉  
COVIT-19が「どこでもドア」を開いた?.....坂入正敏
- 〈入門講座〉 レーザーを用いる分析技術  
レーザーアブレーション ICP-MS.....林 英男
- 〈講 義〉  
法医学領域における法中毒学及び薬毒物検査の現状  
.....山岸由和・永澤明佳・小椋康光・岩瀬博太郎
- 〈ミニファイル〉 衛生と安全  
マスクのサイズや装着による捕集性能の検証.....岩井若菜
- 〈話 題〉  
食品中のグリホサート、グリホシネート及び  
その代謝物の残留分析法について.....穠山 浩

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 勝田正一 (千葉大院理)	東海林 敦 (東京薬大薬)	菅沼 こと (帝人(株))
〈副委員長〉 菅 寿美 (海洋研究開発機構)	上原伸夫 (宇都宮大工)	江坂幸宏 (岐阜薬科大学)
〈理 事〉 津越敬寿 (産業技術総合研究所)	沖野晃俊 (東工大未来研)	齊藤和憲 (日本大学生産工)
〈幹 事〉 加藤大 (昭和大薬)	佐藤久 (北大院工)	高橋あかね (オルガノ(株))
富岡賢一 (三菱マテリアル(株))	谷合哲行 (千葉工業大先進工)	照井教文 (一関高専)
〈委 員〉 井倉則之 (九大院農)	野本知理 (千葉大院工)	東 恭平 (東理大薬)
岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	堀田弘樹 (神戸大院海事科学)	松神秀徳 (国立環境研究所)
坂牧寛 (化学物質評価研究機構)	村居景太 (株共立理化学研究所)	村上良子 (山口大院創成)
田中佑樹 (千葉大院薬)		
中原佳夫 (和歌山大システム工)		
藤森英治 (環境調査研修所)		
宮下振一 (産業技術総合研究所)		
森山孝男 (株リガク)		

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階  
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願い等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2022年 第2号 (通巻566)

2022年2月1日印刷 定価1,000円  
2022年2月5日発行 送料87円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2  
五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計: 03-3490-3351  
編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2022, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。